

総合

2022.保存版



防災マール

災害に強い安心・安全なまちづくり



 **南関町**
NANKAN TOWN

南関町Webハザードマップ

右のQRコードよりご覧いただけます。



令和2年7月豪雨による被害写真

南関町総合防災マップの 発刊にあたって



町民の皆様方におかれましては、日頃から町政に対しまして多大なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、町では、土砂災害、浸水被害などのハザード情報をはじめ、過去の冠水・浸水区域、非常時持ち出し品、マイタイムラインの作成方法なども掲載した総合防災マップ保存版及びインターネットから閲覧出来るWeb版を作成しました。

近年は、地球温暖化の影響で数十年に一度というような災害が毎年のように全国各地で発生しております。本町における災害は梅雨時期の集中豪雨災害と台風による風水害が主なものであり、6月から10月に多く発生しており、令和2年7月豪雨では、総雨量が1,000mmを超え、年間平均降水量の約半分を観測し、多数の土砂災害や浸水被害が発生しました。また、令和3年には梅雨明け後の8月に、総雨量900mmを超える集中豪雨により災害が発生し、改めて自然災害の恐ろしさを思い知らされたところです。

なお、本町の行政・防災の拠点となる役場庁舎は、令和4年1月4日から旧南関高校跡地へ移転し、広大な敷地には防災拠点センター、防災備蓄倉庫を新設し、防災広場はドクターヘリの着陸ポイントとして登録されております。また、有明消防本部荒尾消防署南関分署が同じ敷地に建設され、これまで以上に安心・安全で、災害に強い拠点として防災力を強化しました。

今回作成しました防災マップには、多くの情報を掲載しておりますので、ぜひお読みいただき防災対策や大雨時等の避難に役立てていただきますようお願いいたします。

令和4年3月 南関町長 佐藤 安彦

索引

●マイ・タイムライン	P1	●揺れやすさMAP	P7
●防災対策&チェック	P2	●防災対策	P8
●非常時持ち出し品の準備&チェック	P3	●避難所一覧	P9
●洪水・土砂災害	P4	●防災マップ想定条件	P10
●風水害・台風	P5	●全体図	P11
●地震	P6	●MAP1~MAP11	P12~P33

■発行：南関町
 ■制作・著作：株式会社ゼンリン熊本営業所
 ■作成：令和4年3月

無断で複製・転載することをご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは、著作権法により禁止されています。
 「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 令元情使、第 807-167 号)」

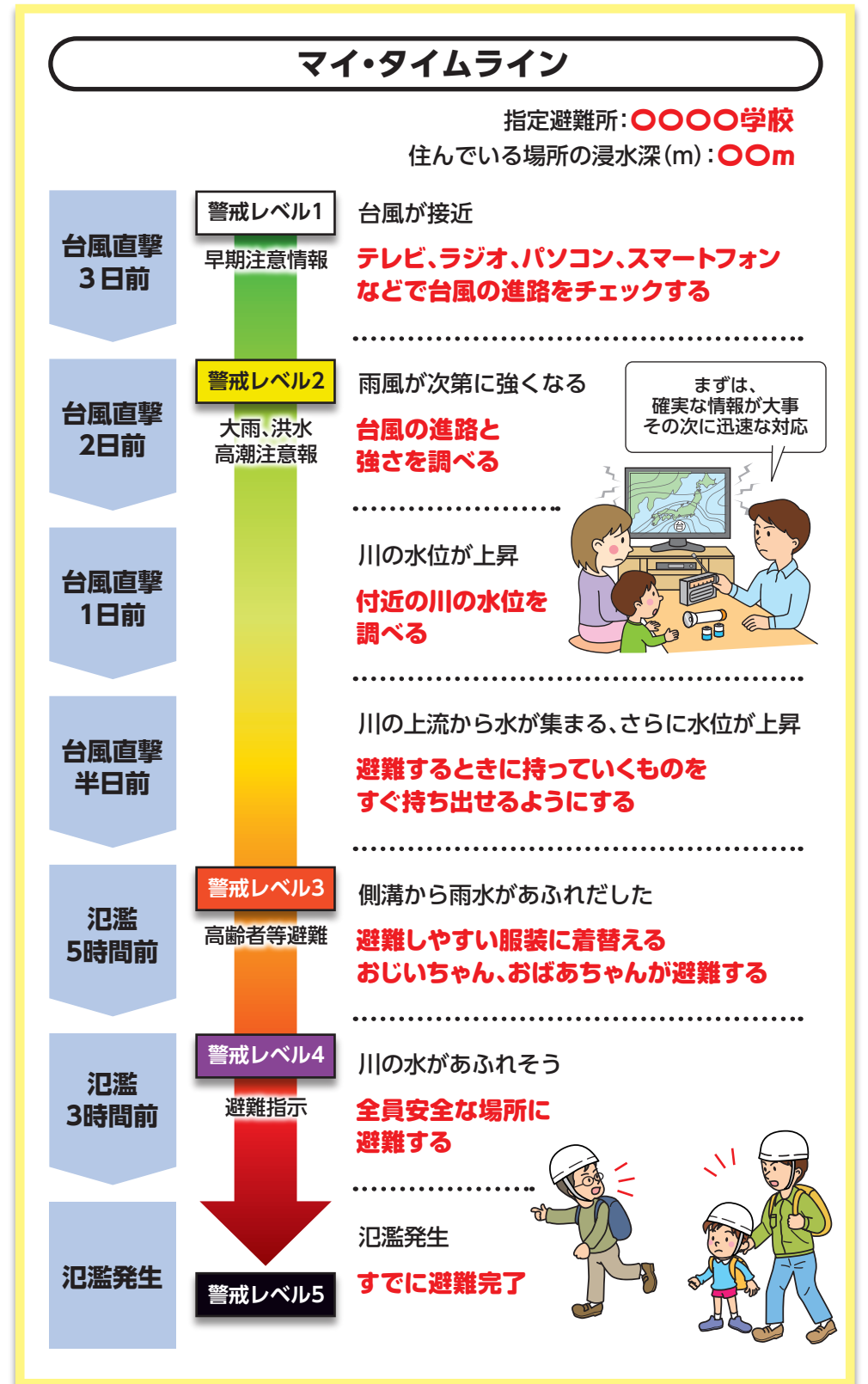
マイ・タイムラインを作成しよう

マイ・タイムラインとは、台風の接近などによって洪水が起こりそうなときに、自分たちで自分や家族がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものです。

台風を想定したタイムラインでは、**台風が直撃する3日前、2日前、1日前、半日前、氾濫5時間前、氾濫3時間前**など各時間にどのような行動をとるか整理するのがよいでしょう。



- 1 ハザードマップで、浸水深・避難所・避難情報を確認する**
 洪水が起こった時に自宅や周辺が浸水するの
 か確認し、避難場所を決定し、避難場所へ
 のような経路で避難するかを確認します。避難
 指示や土砂災害警戒情報など、どのような情
 報が出たら避難を開始するの
 かを確認します。
- 2 洪水発生までにとるべき基本的な行動を考える**
 今後の台風情報を調べ始める、川の水位を
 調べ始める、住んでいるところと上流の雨量を
 調べ始める、非常持ち出しバッグをチェックす
 る、避難しやすい服装に着替える、安全なと
 ころへ移動を始める、などの基本的な行動と
 その順番を考えます。
- 3 家庭の状況をチェックする**
 車を持っている、祖父母と同居している、
 ペットを飼っている、家族に持病がある、親
 戚など避難を受け入れてくれる場所がある
 など、避難行動に向けた留意点を確認して、自
 分たちに必要な行動を考えます。
- 4 行動を時間ごとに整理する**
 基本的な行動と、家庭の状況チェックを行
 い、基本的な行動や、それ以外の自分たちに
 必要な行動が分かったら、それを、時間ごと
 に並べます。



※上記はマイ・タイムライン作成の一例です。

国土交通省のサイト「Webでマイ・タイムライン」
 (<https://www.ktr.mlit.go.jp/river/bousai/mytimeline/>)からも、手軽にタイムラインを作成
 することができます。
 右のQRコードから、国土交通省のサイト「Webでマイ・タイムライン」を閲覧できます。

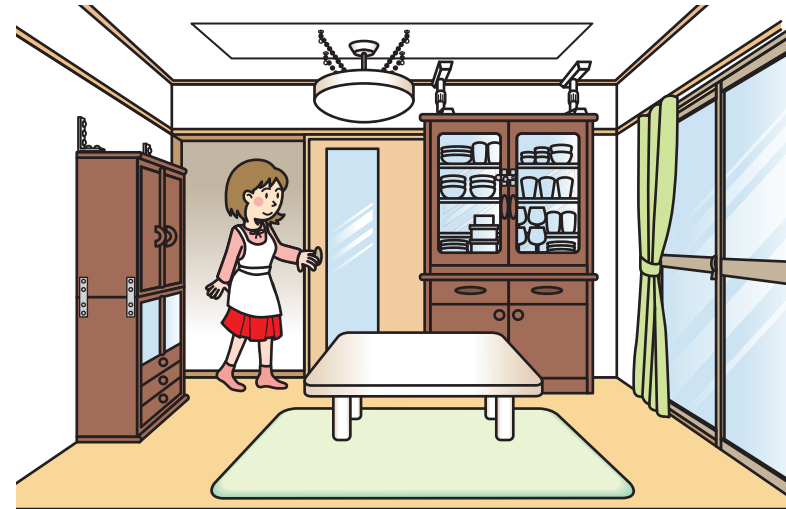


防災対策&チェック

事前に準備できているか、チェック しましょう。



家の中の安全対策



家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換える。

家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。

安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

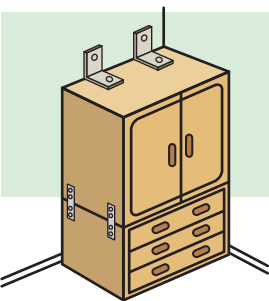
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

寝室、子どもや高齢者のいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



家具の転倒、落下を防ぐポイント

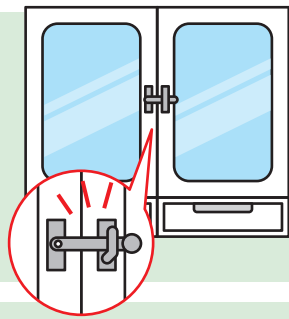


タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。

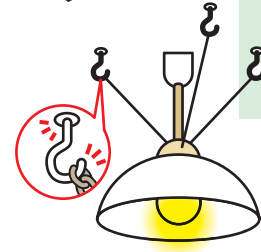
食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



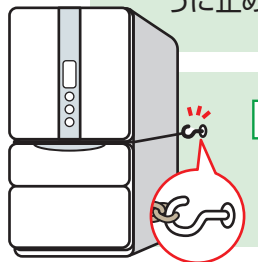
照明

チェーンと金具を使って数か所止める。



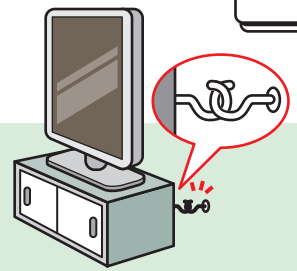
冷蔵庫

固定ベルトなどで壁に固定する。



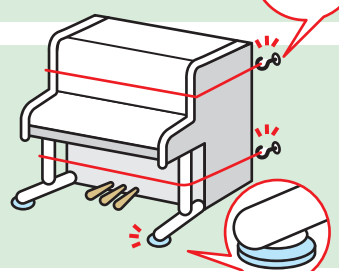
テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



家の周囲の安全対策

屋根

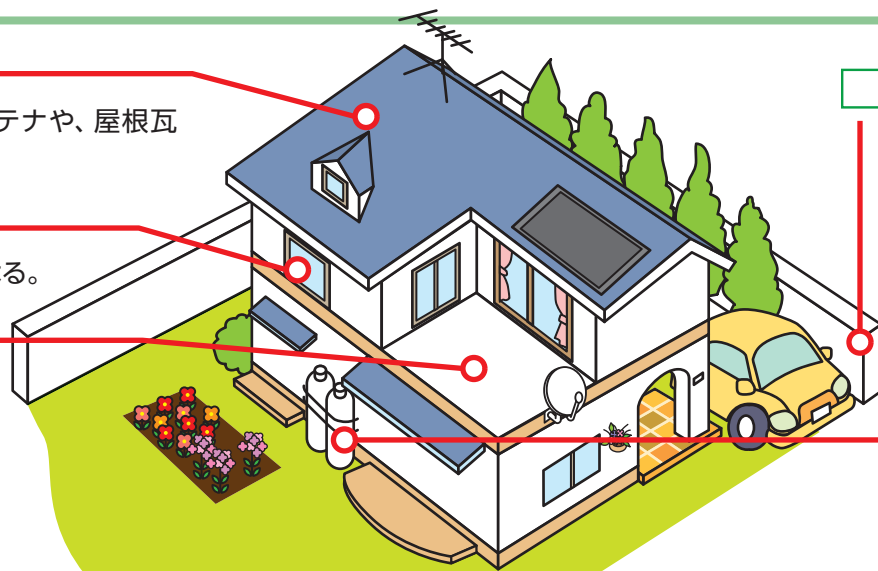
不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。



ブロック塀・門柱

土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

非常時持ち出し品の準備&チェック

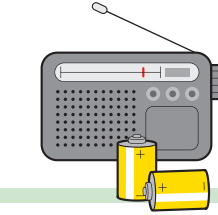


いざというときすぐに持ち出せるように、日頃から準備・点検しておきましょう。事前に準備できているか、チェック しましょう。

非常時持ち出し品(例)

携帯ラジオ

- ラジオ
- 電池(多めに用意)



救急医療品

- 常備薬
- 傷薬
- 風邪薬
- 鎮痛剤
- 絆創膏
- 包帯
- 胃腸薬
- マスク



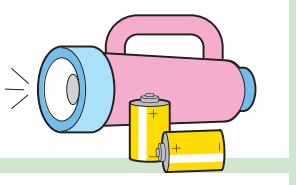
貴重品

- 現金
- 印鑑
- 健康保険証
- 預金通帳
- 運転免許証
- マイナンバーカード



懐中電灯

- 懐中電灯(できれば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)



非常用食品・台所用品

火を通さなくて食べられるもの、食器など

- 非常用食品
- 缶切り
- 紙皿
- 水筒
- 缶詰
- 飲料水
- 栓抜き
- 紙コップ



その他

- 衣類(下着・上着など)
- 生理用品
- 離乳食
- ウエットティッシュ
- ヘルメット
- ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)
- 母子健康手帳
- 防災マップ(本書)
- タオル
- 粉ミルク
- 紙おむつ
- 雨具
- ライター
- 携帯電話の充電器



非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック しましょう。

飲料水

- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水した防災タンクなど



非常用食品

- お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)



調理器具

- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料



その他

- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など



定期点検

非常時持ち出し品は定期的に点検を!

いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限や持ち出し品の不備を定期的に点検しましょう。

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さし、筆記用具(マジックなど)、スコップなど。



熊本地震で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ブルーシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、ボールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持ち出し品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はこまめにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

洪水・土砂災害

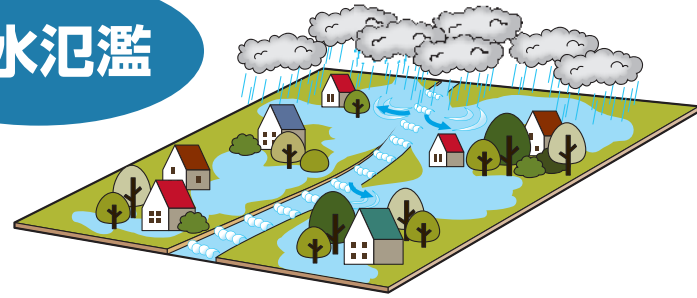
大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりうる災害に対応しましょう。



川の氾濫

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、排水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫



大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる。氾濫が起きると一気に水かさが増すので、最大の注意が必要。

内水氾濫

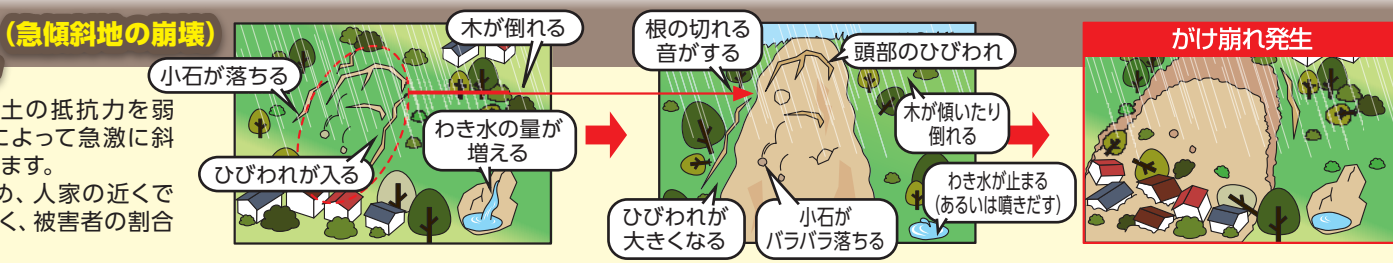


その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。

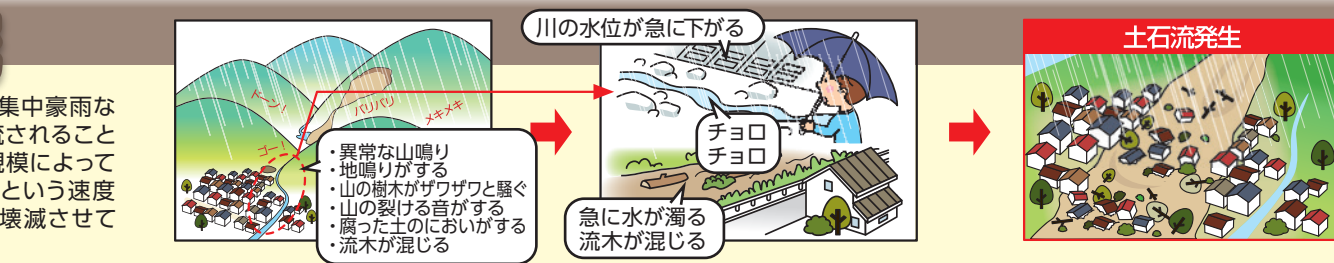
土砂災害

土砂災害警戒情報は、大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに熊本県と熊本地方気象台が共同で発表しています。土砂災害の危険がある地域にお住まいの方は、特に早めの避難が重要ですので、土砂災害警戒情報が発表された際は全員避難してください。土砂災害警戒情報が発表されていなくても、下の図のような土砂災害の前兆に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所に避難してください。

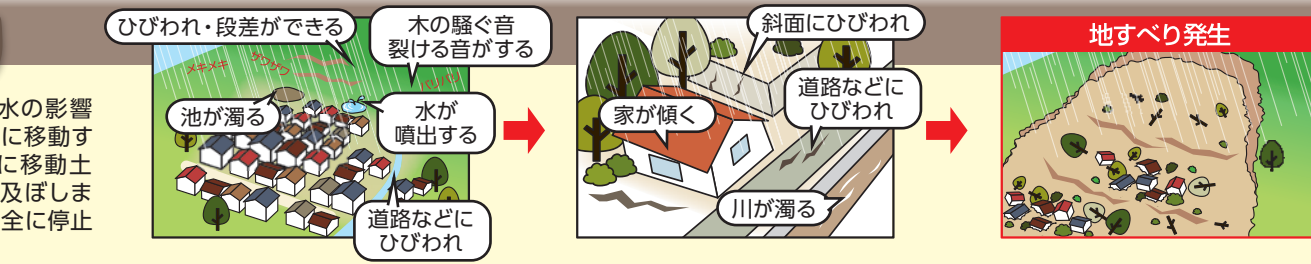
がけ崩れ



土石流



地すべり



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

風水害・台風

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。普段から気象情報に十分注意し、避難の際もみんな協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！こんなときのわが家の安全対策。

大雨注意報

大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表

大雨警報

大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表

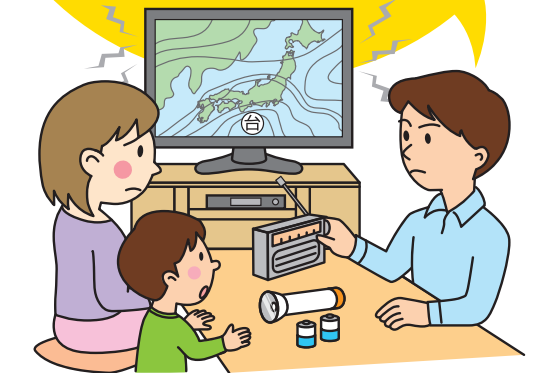
大雨特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表

記録的短時間大雨情報

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測したり、解析したりしたときに、発表します。熊本県区域の発表基準は、1時間雨量110mmとなっています。

まずは、確実な情報が大事
その次に迅速な対応



雨の強さと降り方

時間雨量 (mm)	10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

風の強さと吹き方

平均風速 (m/秒)	10以上~15未満	15以上~20未満	20以上~25未満	25以上~30未満	30以上~
予報用語	やや強い風	強い風	非常に強い風		猛烈な風
人への影響	風に向かって歩けにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	何かにつかまっていなくて立っていられない。飛来物によって負傷のおそれがある。		屋外での行動は極めて危険。

台風の大きさと強さ

台風は、毎年のように日本に襲来し、きわめて大きな災害をもたらすことがあります。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/秒以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上~800km未満	強い	33m/秒以上~44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上~54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 防災行政無線放送をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持ち出し品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。



地下道(アンダーパス)にも注意!

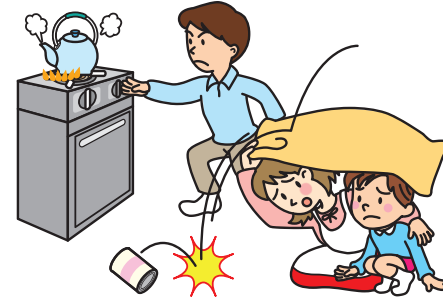
アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。普通自動車の場合、約30cmの浸水で走行困難になりますので注意が必要です。

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

最初の大きな揺れは約1分間

- ▶まず、身を守る安全確保 手近な座布団などで頭を保護
- ▶すばやく火の確認 ガスの元栓、コンセント
- ▶大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



1~2分

揺れがおさまったら

- ▶火元を確認 火が出たら、落ちていて初期消火
- ▶家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- ▶靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- ▶避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意
- ▶津波などの危険が予想される地域はすぐ避難



3分

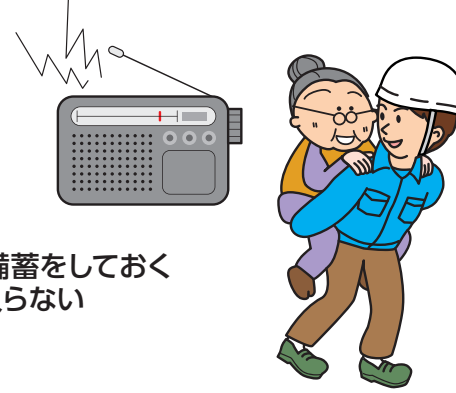
みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかけよう**
 - ▶避難行動要支援者の安全確保 隣近所で助け合う
 - ▶行方不明者はいないか ▶ケガ人はいないか
- 出火防止 初期消火**
 - ▶初期消火 消火器を使う パケツリレー 風呂の水はため置きをしておく
 - ▶漏電・ガス漏れに注意
 - ▶電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める ▶余震に注意

5分

ラジオなどで正しい情報を得る

- ▶救出・救護を ▶町や防災機関、自主防災組織の情報を確認
- ▶デマにまどわされないように ▶電話は緊急連絡を優先する



10分

協力して消火活動、救出・救護活動

- ▶水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- ▶災害・被害情報の収集 ▶助け合いの心が大切 ▶壊れた家に入らない

数時間

3日

屋内にいた場合

家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 高齢者等の避難行動要支援者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護しショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示に従って、落ち着いた行動をとる。

劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。
- あわてずに冷静な行動をとる。



屋外にいた場合

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオなどで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

海岸付近

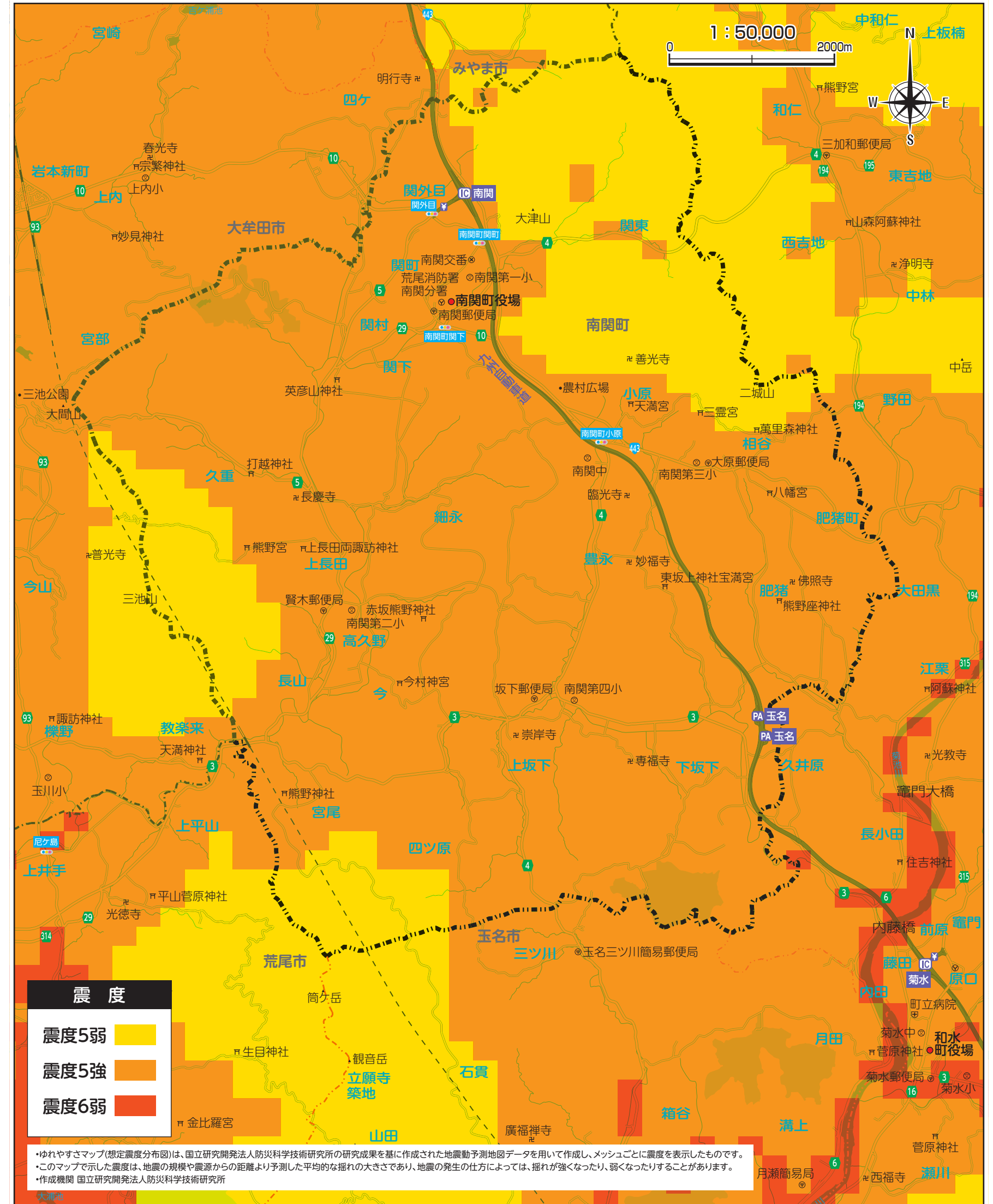
- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



このMAPは、30年6%の確率で一定の揺れに見舞われる計測震度の領域図になります。



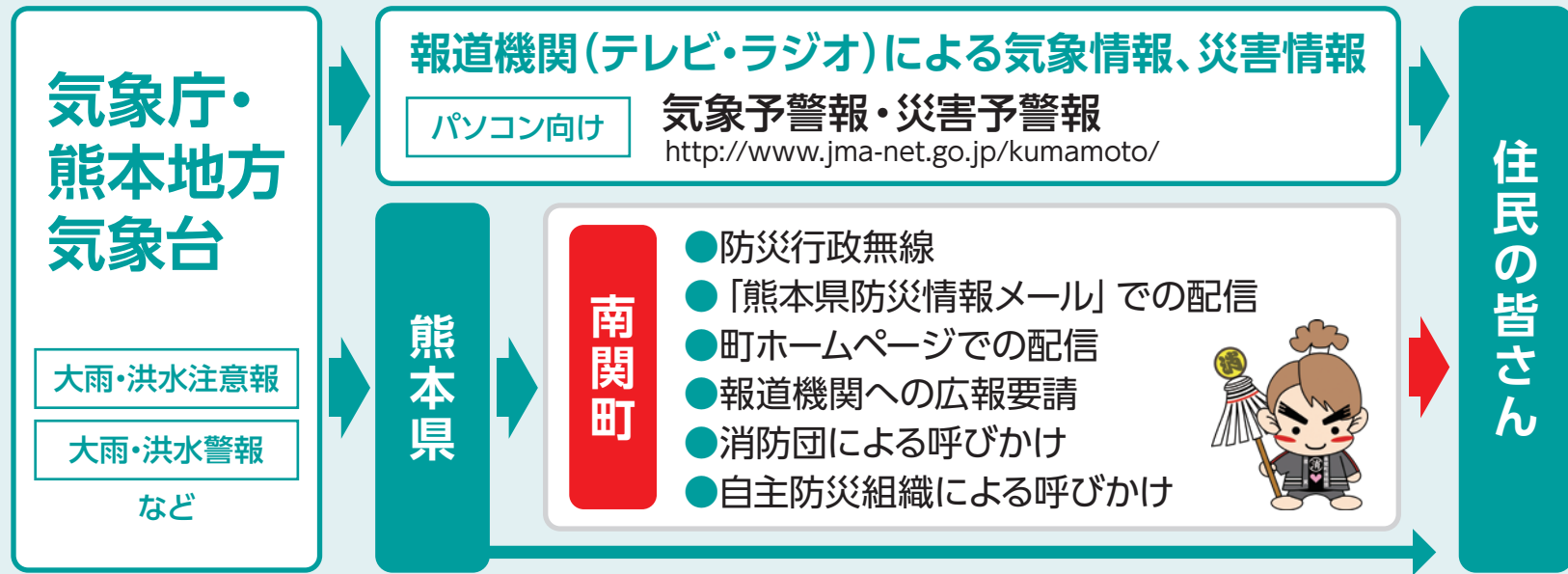
●ゆれやすさマップ(想定震度分布図)は、国立研究開発法人防災科学技術研究所の研究成果を基に作成された地震動予測地図データを用いて作成し、メッシュごとに震度を表示したものです。
 ●このマップで示した震度は、地震の規模や震源からの距離より予測した平均的な揺れ大きさであり、地震の発生仕方によっては、揺れが強くなったり、弱くなったりすることがあります。
 ●作成機関 国立研究開発法人防災科学技術研究所

町では、皆さんの生命に危険が及ぶと判断した場合、警戒レベル3から警戒レベル5を発令し、皆さんに避難を促します。避難指示などを発令するときは、さまざまな状況を総合的に判断して発令します。

気象情報・防災情報などの流れ

災害に関する注意報や警報が発表されたら、町からの情報に注意してください。

- 気象情報、災害予報の流れ
- 避難指示などの流れ



警戒レベルと避難のタイミング

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報	防災気象情報(警戒レベル相当)
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 【市町村発令】	大雨特別警報 氾濫発生情報 【暴風特別警報※2】
～警戒レベル4までに必ず避難～				
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 【市町村発令】	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報・特別警報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ●避難に時間のかかる要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児等)とその支援者は避難 ●高齢者等以外の人でも危険を感じたら自主的に避難	高齢者等避難 【市町村発令】	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 高潮注意報(警報の可能性) 【暴風警報※2】
2	気象状況悪化	自分の避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 【気象台発表】	氾濫注意情報 【強風注意報※2】
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (警報級の可能性) 【気象台発表】	

※1 レベル5は市町村が災害の状況を確実に把握できるわけではないことから、必ず発令されるものではない。
※2 暴風特別警報、暴風警報、強風注意報については、参考として記載している。



自主避難所兼指定緊急避難場所 大雨や台風の接近などで、町が最初に開設する避難所
Voluntary evacuation shelter and designated emergency evacuation site These are the first evacuation shelters opened by the town due to heavy rainfall or typhoon approach.

名称	Name	住所	Address	電話番号 Phone number	MAP番号 MAP number
南の関うから館	Minaminoseki Ukarakan	南関町関町1230	1230 Sekimachi, Nankan-machi	0968-69-6200	3-B-3
ふれあい広場	Fureai Hiroba (Community Center)	南関町高久野585	585 Takakuno, Nankan-machi	0968-53-3390	5-F-4
交流センター	Koryu Center (Communication Center)	南関町小原1408	1408 Kobaru, Nankan-machi	0968-53-2007	3-E-5
南町民センター	Minamichoumin Center (Minami-cho Community Center)	南関町下坂下160-3	160-3 Shimosakashita, Nankan-machi	0968-53-9543	9-B-2

指定緊急避難場所 自主避難所の次に開設する避難所で必要に応じて開設する避難所
Designated emergency evacuation site These are evacuation shelters opened as needed after the voluntary evacuation shelters and are to be announced to the town residents.

名称	Name	住所	Address	電話番号 Phone number	MAP番号 MAP number
南関町役場	Nankan-machi Office	南関町関町64	64 Sekimachi, Nankan-machi	0968-53-1111	3-B-2
B&G海洋センター	B&G Kaiyo Center (B&G Marine Station)	南関町関東934-2	934-2 Sekihigashi, Nankan-machi	0968-53-1133	1-C-5
農業就業改善センター	Agricultural Employment Improvement Center	南関町小原1847	1847 Kobaru, Nankan-machi	0968-53-0403	3-D-4
四ツ原集会所	Yotsuhara Shukaijo (Yotsuhara Meeting Hall)	南関町四ツ原1161-1	1161-1 Yotsuhara, Nankan-machi	-	8-E-3
南集会所	Minami Shukaijo (Minami Meeting Hall)	南関町上坂下77	77 Kamisakashita, Nankan-machi	-	9-A-2

指定避難所兼指定緊急避難場所 災害によって避難生活を余儀なくされる場合に、一定期間の避難生活を行う避難所
Designated evacuation shelter and designated emergency evacuation site These are the evacuation shelters where people are forced to live as evacuees for a certain period of time due to a disaster.

名称	Name	住所	Address	電話番号 Phone number	MAP番号 MAP number
南関第一小学校	Nankan Daiichi Elementary School	南関町関町188	188 Sekimachi, Nankan-machi	0968-53-0009	3-C-1
南関第二小学校	Nankan Daini Elementary School	南関町高久野754	754 Takakuno, Nankan-machi	0968-53-0412	6-A-4
南関第三小学校	Nankan Daisan Elementary School	南関町相谷1800	1800 Ainotani, Nankan-machi	0968-53-0101	7-A-1
南関中学校	Nankan Junior High School	南関町小原2121-1	2121-1 Kobaru, Nankan-machi	0968-53-0005	6-E-1
南関第四小学校	Nankan Daiyon Elementary School	南関町上坂下3528	3528 Kamisakashita, Nankan-machi	0968-53-9204	9-A-1

福祉避難所 要支援者など特別な配慮を必要とする人の避難所
Special needs evacuation shelters These are the evacuation shelters for people with special needs, such as those in need of assistance.

名称	Name	住所	Address	電話番号 Phone number	MAP番号 MAP number
交流センター	Koryu Center (Communication Center)	南関町小原1408	1408 Kobaru, Nankan-machi	0968-53-2007	3-E-5

拠点福祉避難所 要支援者など特別な配慮を必要とする人が、福祉避難所での生活が困難な場合、町からの要請により民間の施設が開設する避難所
Major special needs evacuation shelters These are evacuation shelters opened by private facilities upon request of the town when it is difficult to support the daily life of people with special needs, such as those in need of assistance in the special needs evacuation shelters.

名称	Name	住所	Address	電話番号 Phone number	MAP番号 MAP number
慈幸苑	Jikoen	南関町関町28-1	28-1 Sekimachi, Nankan-machi	0968-53-5008	3-B-2
南関の里	Nankan no sato	南関町久重3424-3	3424-3 Kushige, Nankan-machi	0968-66-6366	5-F-1
延寿荘	Enjuso	南関町上長田616-1	616-1 Kaminagata, Nankan-machi	0968-53-0934	5-F-4
谷崎デイサービスセンター	Tanizaki Day Service Center	南関町相谷1791-3	1791-3 Ainotani, Nankan-machi	0968-53-3011	7-A-1
うすま苑	Usu maen	南関町上坂下790	790 Kamisakashita, Nankan-machi	0968-53-9126	9-B-5

注) 開設する避難所については、役場から防災行政無線及び町ホームページ等で連絡します。
Note: The evacuation shelters will be announced by the town office via official disaster radio and the town Web site, etc.

防災に関する知識

緊急時の連絡先

名称	電話番号
南関町役場(総務課)	0968-57-8500
有明消防本部	0968-71-0119
有明消防本部 荒尾消防署 南関分署	0968-53-0309
玉名警察署	0968-74-0110
玉名警察署 南関交番	0968-53-0148
九州電力送配電 停電情報	0120-426-306
NTT(電話の故障)	113

消防・救急

119

警察

110

日常の心得

災害は、いつ発生するかわかりません。日頃からの備えが大切です。日頃から気象情報について、テレビ・ラジオ・新聞・インターネットなどを通じて把握するよう努めましょう。

愛情ねっと

「愛情ねっと」は、登録された利用者には、大牟田市・荒尾市・南関町・長洲町の防犯、防災などの安心安全情報や、その他の様々な情報を携帯電話等にメール配信を行うサービスです。

新規登録手順

- 1 愛情ねっとのトップページ (<https://www.ai-jo.net>) にアクセスすると、右側にメニューバーが表示されますので、その中の「登録・変更・停止」をクリックします。(右記のQRコードから「愛情ねっと」のページを閲覧できます。)
- 2 「新規登録」ボタンをクリックし、メールアドレス欄に愛情ねっとからのメール配信を希望するメールアドレスを記入します。記入後、「送信」ボタンをクリックします。
- 3 「仮登録受付」の確認画面が表示されます。入力したメールアドレスに本登録用メールが送付されていますので、そちらから本登録作業を行ないます。
- 4 本登録用メールが送付されていますので、メール中の本登録用URLをクリックしてください。本登録画面が開きます。
- 5 本登録画面では配信を希望する項目と地域を選択し、確認ボタンをクリックします。
- 6 確認画面が表示されます。前画面で選択した項目・地域の確認を行い、選択が問題なければ、登録ボタンをクリックして下さい。
- 7 無事に登録が完了しますと、登録最終画面が表示されます。これで「愛情ねっと」への登録が完了しました。



連絡方法の確認

災害発生時は、家族や知人と連絡が取れなくなることがあります。事前に話し合い、連絡方法を確認しておきましょう。なお、電話会社各社では、大規模な災害発生時に災害用伝言ダイヤルなどを利用できます。事前に利用方法を確認しておきましょう。

- 一般社団法人電気通信事業者協会 <災害時の電話の利用方法> <https://www.tca.or.jp/information/disaster.html>
- NTT西日本 <災害用伝言ダイヤル171> <https://www.web171.jp>
- NTTドコモ <災害用伝言板サービス> <https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/>
- au <災害用伝言板サービス> <https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/>
- ソフトバンク <災害用伝言板サービス> <https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/>

緊急速報メール

「緊急速報メール」により、**緊急情報**を配信します

町では、災害時の避難指示などの緊急情報をより多くの人にお伝えするため、緊急時に町内にいる人の携帯電話へ「緊急速報メール」の配信を行います。

- 「緊急速報メール」とは、避難指示などの緊急情報を町内にいる人の携帯電話(NTTドコモ、au、ソフトバンク、楽天モバイル等)へ一斉にメールを配信するものです。
※機種により「緊急速報メール」を受信できない場合や受信設定が必要となる場合がありますので、詳しくは、各携帯電話会社へお問い合わせください。
- 配信する情報は避難指示など、緊急かつ重要な情報です。
- 携帯電話を利用する人の費用負担や事前のメールアドレス登録は必要ありません。

